

教育・文化

小学校のプール授業と夏休みのプールを安全に楽しく

木村まゆみ議員(共産) ①夏休みに市立小学校で発生したプールの事故について、教育委員会はどのように受けておられるか。

②児童の心理ケアは。

③今後の改善点は。

④埼玉県のプール事故を受けて調査した結果と改善策は。

⑤市営プールの設備管理や運営の委託状況は。

教育長 ①事故を重く受けとめ、臨時校長会の開催や、状況視察等を通じ、指導管理体制の強化について周知した。

②市から臨床心理士を派遣し、相談に当たった。

③今後、このような事故が起きないように、研修会を通して安全に対する教員の意識の向上を図りたい。

④市営プール2か所、小学校14校、中学校8校については吸い込み防止金具が未設置であったため設置した。

⑤受付業務、監視・救護及び安全管理、清掃業務等を委託しており、孫請は禁止している。

子どもの安全を守るために行政に求められていることは

華表 暁議員(共産) ①市長のマニフェストにある警備会社による実態調査の結果は。

②防犯カメラの設置状況と運用方法は。

③地域におけるパトロール体制の特徴は。

④各小学校に朝だけ交通擁護員を配置した場合の経費は。

教育長 ①防犯上有効な対策と



代の出土品などは鈴木遺跡資料館で、新田開発に関する資料などは図書館、民具庫などで保存・公開している。

②指定はおおむね終了したとして、防犯カメラの設置やインターホンの設置等が挙げられた。

③14校で設置が終了した。運用に当たっては管理責任者を置き、個人情報保護条例を遵守するように指導・監督を行い、データの適正な管理に努めていく。

④八小地区子どもみまもりネットワークでは、わんわんパトロールや黄色い腕章をつけた見守り等を実施している。

⑤登校時間帯の1時間、各校に1人配置した場合、年間200日1時間当たり800円と仮定すると、約300万円かかる。

文化行政への取り組みについて

宮崎照夫議員(政和) ①郷土文化の保存・継承の現状は。

②文化財の指定や保護、管理をどのように考えるか。

③無形文化財である鈴木ばやし等の活動状況と、伝承のあり方について考えは。

教育長 ①指定文化財は国都・市と合わせて20件ある。そのうち旧家の居宅などは小平ふるさと村に移築・保存し、旧石器時代

教育基本法の改定は必要ない

佐藤 充議員(共産) ①平成15年9月定例会で可決した教育基本法の見直しに慎重な対応を求める意見書は今日でも生きています。小平市ではこの意見書が否定され、教育基本法を改定し

小学校の防犯カメラ設置について

永田政弘議員(政和) ①防犯カメラの現状は。

②費用と効果に対する考えは。

③プライバシーの問題に対する考えは。

④今後の具体的な内容は。

教育長 ①セーフティ教室の開催、非常通報装置の設置、防犯ブザーの配布、教職員やボランティア等による校内・校外の巡視等を行っている。

②社会的な意識や情勢が変化の中で、費用と効果の意識が変化し、安全への必要性がより高まったと理解している。

③防犯カメラの管理及び運用に関する要綱を定め、その取り扱いについて各学校長へ周知徹底している。

④要綱に基づき個人情報の保護を踏まえ適切に運用していく。

道路

駅周辺の歩道は歩行者優先を表示すべき

常松大介議員(緑ネ) ①市内7駅周辺の歩道で、自転車の通行禁止区間は合計何ヶ所か。

②公安委員会が設置した規制標識以外に、自転車の通行禁止を表示している注意喚起の看板などはあるか。

③市民から自転車のマナー向上を求める意見はあるか。

市長 ①約千4百ヶ所である。

②花小金井駅北口東側道路の歩道に、標識タイプの看板とシ



ールタイプの路面表示を設置している。

②小平市で愛国心を評価するような通知表をつくっている学校はあるか。

教育長 ①教育基本法のあり方は重大な国の政策を決定するものなので、国会の最終的な審議の結果を待つべきではないと考える。

③後継者育成事業を初め、多くの演奏会など行っており、会員を中心に伝承されていくと考える。今後は、後継者の育成や無形文化財伝承者の認定制度についても検討していきたい。

五日市街道(回田町喜平町一丁目)歩道設置事業について

齊藤一夫議員(政和) ①事業に伴う第三小学校用地の買収状況等は。

②全小学校の校庭として使用できる面積は。

③プールと体育館を一体化して新設し、校庭を広くすることできないか。

④校庭西側の市道765号線を廃道し、校庭として使用することできないか。

教育長 ①昨年度から都北多摩北部建設事務所と交渉を行い、都の用地取得要望と市の要望を調整している。

②運動場及びプールを校庭とした場合、最小は十二小の4千9百66平方メートル、最大は十四小の9千5百98平方メートルである。

③技術的には可能だが、工事期間中のプールや体育館の代替、校庭の使用制限などさまざまな課題が想定されるため、現状では難しい。

④住民が利用しているので、今後の研究課題としたい。

踏切の歩行者安全対策を向上すべし

津本裕子議員(公明) ①公立昭和病院西側踏切内の歩道を青梅街道の整備計画で拡張できないか。

②花小金井駅東側、通称第1踏切南側のせいぶ通り路面部分をカラー舗装等できないか。

③街路灯を整備し、歩道を広げることできないか。

④通称第2踏切はほとんどの歩行者が都道132号線を横切るため、停止線の位置の見直しや横断歩道が必要ではないか。

⑤踏切のマウンドが高くて危険なので改善できないか。

市長 ①バリアフリー事業として歩道の段差や勾配、ブロックや舗装等の改修を行うもので、拡張の予定はないと聞いている。

②通行車両への注意喚起が期待できるので検討したい。

③地元商店会が設置したものなので、調整が必要と考える。

④小平警察署に要望したところ、停止線は踏切と距離をあげることが困難である。

公共施設

仲町図書館・公民館の建替え計画の検討について

西 克彦議員(共産) ①検討内容の主な点は。

②集会所としての機能や、バリアフリー、音楽室、駐車場の確保等に対する考えは。

③地域市民が計画へ参加できる場づくり等も含め、今後の計画は。

教育長 ①図書館・公民館の複合化であるため、一方の敷地に建設した場合の機能の共有化、建てかえ工事期間中の蔵書の取り扱いや公民館活動への影響などについてである。

②市民が学習や活動を行うための必要な機能の確保や、新たな施設の中での集客機能の共有なども含め、利用者の要望に対応できるように多目的な活用について検討したい。

③今年度は利用者からの意見や要望も含め、市職員が検討を進めている。一定の考え方を市

体育施設を指定管理者制度に移行したらどうか

鴨打喜久男議員(政和) ①公約どおり体育施設を指定管理者制度に移行することについての見解は。

②市民総合体育館の維持管理経費の内訳は。

③指定管理者制度を導入した場合、どのように節約とサービスの向上が図れるか。

④市民主体の運営方式についてどう考えるか。

市長 ①現在のところ未定だが、他市の情報を収集して、総合的に検討していきたい。

②平成16年度決算では人件費が約3千3百90万円、光熱水費が約5千2百40万円、委託料が約1億3百70万円等となっている。



市立グラウンドを利用しやすくていいか

津本裕子議員(公明) ①整備に関する要望と対応策は。

②スプリンクラー、更衣室、日よけの設備、サッカーゴールなどの整備計画は。

教育長 ①要望の多い砂じん対策についてはスプリンクラー等で、また隣接民家へボールが入るといった苦情・要望については、必要に応じて防球ネットをかき上げた。

②整備計画はないが、今後利用者の状況を考慮しながら検討したい。

気象庁の緊急地震速報システム導入に向けた検討は

常松大介議員(緑ネ) ①地震の大きな揺れが来る前に地震の規模や到達時間を伝える緊急地震速報システムの一部が導入された。このシステムを導入した場合、効果的と考えられる市の施設はどこか。

②システムを導入した場合どのような危険が回避できるか。

③導入の検討は。

市長 ①市役所や健康福祉事務センターなどの公用施設、あるいは地域センター、公民館、市

防災安全

乳幼児医療費の無料化を中学校まで拡充できないか

立花隆一議員(公明) ①就学前までの医療費無料化の予定と対象人数及び経費は。

②他市の状況は。

③国が小・中学生までの医療費を無料化した場合の対象人数と経費は。

市長 ①段階的に対応していくが、平成19年4月から5歳児を対象とした場合約千5百人で、経費は年間5千4百50万円程度、20年4月から就学前の6歳児を対象とした場合約850人で、年間3千90万円程度となる。

②平成18年4月1日現在、中学校卒業までが3区、小学校卒業までが1区、小学校3年生までが1区ある。今後、都の動向や財政状況を踏まえて対応していきたい。

③小学校全体で1万百4人、2億2千2百29万円、中学校全体で4千9百77人、1億9百49万円となる。

児童性

民総合体育館などの公共施設等さまざまな施設での活用が考えられる。

②施設利用者の避難行動を促進することにより、転倒や落下物による被害の軽減、あるいはエレベーターを早い段階で制御して、閉じ込めを回避することができると考える。

③気象庁でも情報の精度向上・迅速化などに取り組んでいるため、有効性が実証された場合には検討したい。